

(様式第2号)

長門市文化会館指定管理者事業計画書

団 体 名	(公財)長門市文化振興財団			
代表者氏名	大谷恒雄	成立年月日	平成11年9月1日	
団体所在地	長門市仙崎10818番地1			
電 話 番 号	26-6001	F A X	26-6002	
E - m a i l	kanri@renaissa-nagato.jp			
運営実績のある 類似施設名	所 在 地	主な業務内容	運営年月	
ルネッサながと	長門市仙崎10818番地1	施設維持管理、運営	開始	平成12年3月
			終了	年 月
くじら資料館	長門市通671番地17	施設維持管理、運営	開始	令和3年4月
			終了	年 月
村田清風記念館	長門市三隅下2510番地1	施設維持管理、運営	開始	令和3年4月
			終了	年 月
金子みすゞ記念館	長門市仙崎1308番地	施設維持管理、運営	開始	令和4年4月
			終了	年 月
香月泰男美術館	長門市三隅中226番地	施設維持管理、運営	開始	令和4年4月
			終了	年 月
事 業 計 画				
【経営方針及び団体の理念について】 1 指定管理者の指定を申請した理由 私どもは、地域住民一人一人が文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境を整えることにより、豊かな伝統文化の継承・発展と新たな地域文化活動の振興を図り、真に豊かさを実感できる地域社会「豊かでうるおいのあるふるさと長門」の形成と進展に寄与することを目的として、平成11年9月に設立された文化振興財団です。その後、23年からは公益法人に移行し、公益の増進という社会的責任を担う立場を明確にして、事業運営を担ってまいりました。 財団設立以来、維持管理、運営を担っておりますルネッサながとは、舞台芸術に特化した特殊な舞台機構を有する施設であり、一方のラポールゆやは、音楽公演専用の設備を備えた施設という異なる特徴があります。この長門市内の二つの文化会館を一体管理の上、それぞれの特色を活かした事業の棲み分けを行い、より効果的に長門市民に向けて様々なジャンルの文化芸術を提供することで、地域の活性化と魅力ある文化のまちづくりに寄与していくため、指定管理者に応募しました。				

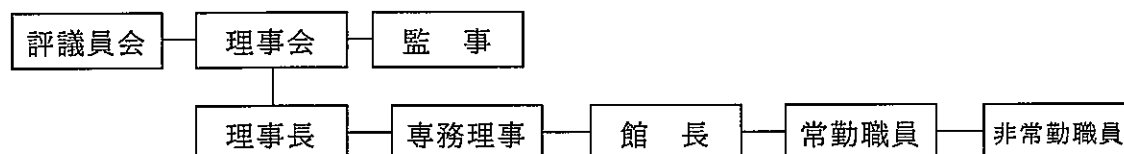
2 施設の現状に対する考え方及び将来展望

ラポールゆやは、開館以来、こどもミュージカルなど地域と一体となった特色ある事業が進められてきました。一方で、令和元年に大ホール、コミュニティホールそれぞれで9,000人、多室と合わせ25,000人を越えた利用者数も、コロナ禍を経て大ホール8,000人、コミュニティホール3,000人で推移しており、コロナ禍に加え、少子高齢化の影響も加わり、利用者数の低迷が続いています。当施設は、長門市内唯一の本格的反響板を備えた、身近で音楽に親しむことができるホールという特異性を有していますが、来年度からは公民館を併せ持つ役割を終え、今まで以上に発信力を強化し、地域振興の拠点施設として、様々な文化交流の機会を作ることが求められています。

【施設の管理について】

1 職員の配置（指揮命令系統がわかる組織図を含む）

館長以下4名の編成を管理運営の基本体制とし、休館日を除き、月毎のローテーション勤務により運営します。予定外の事象等が発生した場合は、法人事務局と協議し、当財団が管理する他施設からの補充や配置等により対応します。財団管理の利点である意思決定の早さと意思疎通の緊密さを最大限に活かし、適正かつ円滑な管理運営にあたります。



2 職員の研修計画

安定したサービスを継続して来場者に提供するため、接遇研修や様々な業務に関する各種研修会への積極的な参加、類似施設への視察等、職員の資質向上に努めます。

3 安全・安心の面からの管理運営に向けた防犯・防災の対応

利用者の快適性と安全性の確保、並びに施設設備の正常な稼働は、施設運営の根本となる部分であり、絶対条件と考えます。利用者にとって安全・安心で快適な施設環境を維持していくため、法令等に基づく各種点検を確実に実施するとともに、スタッフによる日々の点検をすべての基本として、有事に備えます。

4 災害発生時等の緊急時における対応

火災、地震、風水害等の緊急時には、館長を本部長とする危機管理本部を設置し、救護、連絡調整などの担当職員を配置します。また、緊急時に適切な初動対応が行えるよう、施設内に備えられたAEDの操作や防災の訓練を年2回以上実施します。

5 個人情報の保護

施設の管理運営上知り得る主な個人情報は、「施設利用者の情報」「アンケート回答者の情報」となります。これら情報は、サービスに関わる情報提供や案内書等の発送の目的で使用します。個人情報の保護は、施設の管理運営上重要な責務として、厳正な管理が求められます。当財団は、理事長を個人情報保護責任者とする独自の個人情報保護方針を制定して、個人情報の厳正な管理を行っています。今後も、関係法令を遵守して、情報の紛失・漏洩・改竄等が発生しないよう、適正な管理に努めます。

6 経理処理の方法

施設に会計責任者を置き、当財団財務規程に従い、収支計算、備品の管理及び物品の出納に関する帳簿を作成し、適正に経理を行います。

7 管理経費縮減のための工夫

各種事業の開催や積極的な情報発信、各種サービスの充実等によって施設利用者の増加を図り、入場料収入の確保に努めます。また、こまめな冷暖房の管理や消灯の実施、書類の電子化を進め、経費節減、省エネルギー及び環境への配慮に努めます。

【文化事業について】

1 文化事業についての方針

市内唯一の本格的反響板を備えた音楽専用の設備と、可動で多目的利用が可能な客席を有するホールの特徴を最大限に活かし、市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市民の文化活動を支援し、積極的に参加型事業を進め、地域文化の交流拠点施設としての役割を果たしていきます。

2 実施方法

法人事務局、会館スタッフと地域有識者等で構成する運営委員会の助言を得ながら、施設の設立目的にかなった内容かどうかを吟味し、芸術性やアンケート等から得られた地域ニーズ、経済性、安全性等を考慮し、事業内容を企画・決定します。また、運営に当たっては、市民の参画等が得られるよう、各種団体との共催事業を積極的に展開していきます。

3 実施内容

市民に親しみを持たれる文化活動の拠点施設となることを目指し、「鑑賞事業」「協働・支援及び育成事業」「情報発信事業」の3本柱からなる事業を企画・実施していきます。

(1) 鑑賞事業

地域住民のニーズに応え、文化芸術の普及振興につながる優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供します。

(2) 協働・支援及び育成事業

地域の子供たちが文化芸術に触れる機会を提供し、創造力や想像力を育む場を設けていきます。また、市内文化団体の活動支援や団体相互の交流などを通じて、次代を担う人材の育成に取り組んでいきます。

(3) 情報発信事業

施設利用促進と地域文化情報発信のため、施設独自のホームページを開設し、他の市内文化施設とネットワークを構築しながら、積極的な情報発信に努めます。

4 実施体制

会館スタッフを中心に地域の文化団体や教育機関、各種団体と連携を図りながら事業を進めていきます。当財団による一体管理の利点を活かし、管理施設間で人員を適宜補う体制を構築していきます。

【施設の運営について】

1 サービス向上及び利用促進のための方策

「地域文化の交流拠点施設」を目標とすべき姿として、以下の数値目標を設定するとともに、次の取り組みを行います。

<数値目標>（令和7年度）

来場者：10,000人

満足度：80%以上

<達成方策>

当財団は、「地域社会及び市民の文化の向上及び福祉の増進を図る」という施設の設置目的を、各種事業を通じた文化的体験の提供により果たしていきたいと考えています。この内容の充実が利用者に対する最大のサービス向上策であり、来場促進に向けた最善の取り組みとの認識のもと、次の取り組みを行います。

(1) 利用者視点に立ったサービス向上の取り組み

①接遇の向上

全職員を対象に接遇研修を行い、来場者を「おもてなし」の心と「笑顔」でお迎えします。また、館内では定期的な見回りを行い、施設案内等のサービスを提供するなど、常に接客スキルを高めることに努め、顧客満足度の拡大とリピーターの確保につなげていきます。

②平等利用の確保

公立文化施設であるという認識を常に持ち、利用者の平等利用の確保に努めます。特に、幅広い年齢層や障害者、外国人にも事業内容を理解してもらえるよう、案内表示やパンフレットの工夫を行います。

(2) 利用促進に向けた取り組み

①新規顧客とリピーター率の向上

年間を通じた事業の提供や積極的な情報発信を通じて、新規顧客とリピーターの確保に努めます。また、教育機関との連携により、児童・生徒の来場促進に努めます。

②積極的な情報発信

施設からの定期的な情報発信は欠かせないものと考えます。ホームページ、ソーシャルメディア等各種ツールを用いた発信や、当財団がこれまで培った情報網を活かし、他の市内文化施設とも連携した積極的な情報発信に努めます。

③各種割引制度の検討

各種割引・優待制度を検討し、地域の子供たちや文化団体が気軽に施設を利用でき、日頃の活動支援につながる環境整備を進めます。

④市内文化施設のネットワーク構築

市内の文化施設を一体的に管理する利点を最大限に活かし、各種連携事業や施設間の周遊ツアー、相互優待サービスなどを企画していきます。また、施設間の人的交流を進めることで、施設運営の活性化につなげていきます。

2 利用者等の要望の把握及び対応方針

来場者にアンケート調査を行い、利用者ニーズの把握や満足度を調査し、定期的な自己評価を実施して業務の質とサービスの向上に努めます。利用者からいただいたご意見やご要望は、対応方を分析・協議し、スタッフ間で解決策を共有するなどして、業務の改善につなげていきます。

3 利用者のトラブルの未然防止と対処方法

事故や不審者・不審物による犯罪の早期発見と未然防止のため、スタッフ全員が防犯・防災への高い意識をもって日常的に施設内外の巡回を実施するとともに、小さな事故や気付きを共有し、その対応についての打ち合わせを行うなど、利用者の安全確保に努めます。また、リスク対応マニュアルを整備して、周知と定期的な訓練に努めます。

4 その他（自主事業、地域との連携、他施設との連携等）

（1）自主事業

ラポールゆやとルネッサながとという市内の二つの文化会館を一体管理する利点を活かし、ラポールゆやは音楽関係や交流事業に、ルネッサながとは舞台芸能にそれぞれ重点を置くなど事業の棲み分けを行い、相互に連携して情報発信を進めながら、年間を通じて市民へ様々なジャンルの文化芸術の提供を行います。また、これまで培ってきた地域文化団体や図書館とのネットワーク、並びに広いロビー空間を活かした各種事業を企画・検討していきます。

（2）地域との連携

施設の利用を活性化していくためにも、より多くの地域の方々が施設に関わり、交流を進めていくことが必須と考えます。これまでの施設運営で培った人的ネットワークや地域の教育機関、公民館、文化団体などと交流し、意見交換を重ね、ともに地域振興を図ることができるよう努めます。

（3）他施設との連携

当財団は、20 年余りにわたるルネッサながとの維持管理、運営を通じて、観光施設や各種団体との連携強化に努め、観劇ツアーや温泉宿泊プラン、温泉商店街割引チケット、企業プレイガイドなど様々な誘客の取り組みを進めてきた実績があります。この経験をもとに、市内外の関係機関や各種団体と連携した企画を立案し、利用促進につなげていきます。

【その他 特記すべき事項】

私どもの財団は、平成 11 年 9 月に設立され、同 12 年のルネッサながと開館以来、その維持管理、運営に従事してきました。その間、300 万人に及ぶ利用者を受け入れ、5 万件以上の貸館業務の受け付けや 600 件を越える自主事業を企画・実施してまいりました。この間培った人的ネットワークは全国に及びます。これらの経験と実績を本文化会館の管理運営に活かしていきたいと考えます。

自主事業計画書（ 7 年度）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
油谷こどもミュージカル	地域の児童生徒が文化に親しむ機会を提供し、地域文化の振興につながることを目的とする事業。	12 月（1 回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
DVD 上映会	地域のニーズに応え、コミュニティホールを会場に名作映画を無料で市民に公開する上映会。長門市立図書館との連携事業。	年 6 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
長門市ただいま。	市民に優れた文化芸術に触れる機会を提供することを目的とする鑑賞事業。油谷こどもミュージカル卒業生と東京藝術大学の仲間たちによる歌とピアノのコンサート。	年 1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
来んかね ラポールゆや	市民に文化芸術に親しむ機会を提供し、市民の交流の場とすることを目的とする地域団体と連携した施設開放事業。	年 1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
邦楽ライブ	邦楽に親しむ文化団体に日頃の活動の成果を発表する機会を提供することを目的とする支援事業。	年 1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもピアノリサイタル	ピアノに親しむ子供たちが日頃の練習の成果を発表する機会を提供する支援事業。	年 1 回